



大原 広巳 議員

歴史民俗資料館の必要性は

教育長

検討していく

【大原】資料などの保存状況は。

【教育長】発掘出土遺物などは、旧下中山保育所や各公民館に展示している。古文書や絵図・農具などの歴史資料は、旧庄内小学校に保管している。

【大原】旧3町で、一体化した保存施設が必要ではないか。

【教育長】資料は、相当な量になり、今後も増えていく。民具などは、町内全小学校の3年生が、社会科見学している。一般公開も含めて、そのような施設も必要となってくる。

【大原】所子伝建地区の旧保育所跡地に、施設ができないか。

【教育長】財政的にはすぐには無理である。

今後は、地区内の空き家を利用して、資料の展示や休憩所、トイレなどを整備していく。大山開山1300年と連携していきたい。

村まつり応援事業を

町長

「コミュニティ助成事業の活用で

【大原】近年、集落全体で行う行事が減ってきている。人口減や、

休日が多様化などが主な原因か。また、集落の自主財源が減っているため、活動が停滞していると感じる。

少子高齢化や緊急災害時対応に、集落内の

濃い人付き合いが必要である。子どもから高齢者まで、多くの参加者が集まるイベントに助成してはどうか。

【町長】毎年、使途の自由な集落コミュニティ活動補助金を出している。もっと活用してほしい。



集落皆が参加するイベントを（とんどさん）

公営墓地ができないか

町長

検討を続ける

【大原】移住・定住事業の終点として、公営墓地が必要である。現在の進捗よく状況は。

【町長】以前より色々な候補地をあたってきたが、周辺住民の反対もあり、実現できずにいる。

【大原】停滞している、大山インター工業団地にできないか。

平・平木県道バイパスができると、交通アクセスがよくなる。検討しては。

【町長】以前、団地の隣接地で交渉したが、実現にいたっていない。

現時点では難しいが、早急に場所の選定をしていきたい。



景色も交通アクセスもよい大山IC工業団地

このほか、平・平木県道バイパスの進捗よく状況について質問しました。

高齢者への配慮施策は

町長

必要なサービスが届くよう検討する



吉原美智恵 議員



ゴミ出しは大変

【吉原】超高齢化社会が問題となっており、本町も例外ではない。子育て支援も大切だが、高齢者にやさしい町であることが、遠回りのようだが将来住みたい町となり、移住定住への後押しとなるのではないか。

高齢者が生きがいを持ち、地域でそのらしく暮らしている施策は充実しているか。

【町長】日々の暮らしによりそった施策は、地域包括支援センターが中心となっているが、不十分どころもある。

【吉原】敬老事業などの補助金の整理統合は、保健活動やふれあい活動がなされないという意味がない。報告書の検討が必要では。

また、介護の人材不足を補うための元気なシルバー活用を考えてはどうか。

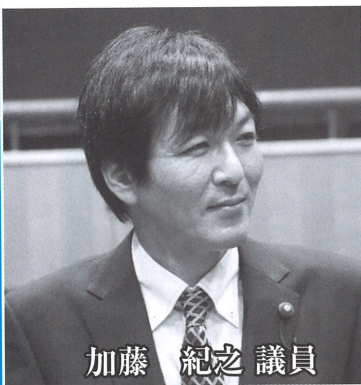
孤立する高齢世帯のゴミ収集問題について、各家を回る自治体も出ているがどうか。

【町長】必要なサービスが行き届くよう検討する。

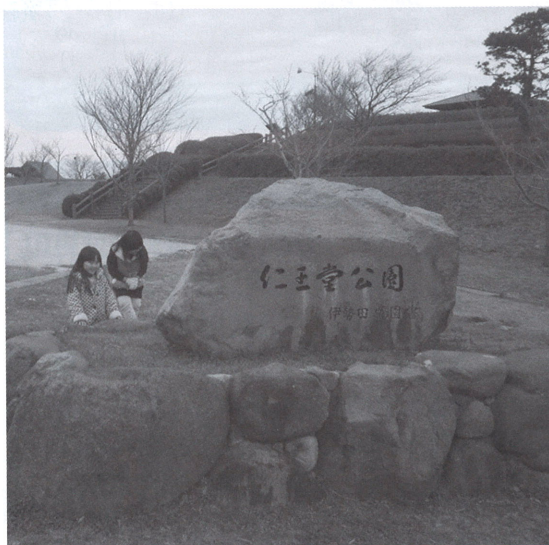
新たな子育て支援策は

町長

財政負担を考えながら行う



加藤 紀之 議員



賑わいを生み出す環境整備が必要（仁王堂公園）

【加藤】金銭的な補助での子育て支援策では、他の自治体と同様な政策を行うことによって、本町の優位性は薄れてしまう。また、自治体間の競争になり財政負担の増加が懸念される。

国による保育料の無償化が実現した場合、新たな子育て支援策を導入するのか。

【町長】国による無償化が実現するにしても、本町の財政負担がどうなるかは明確になっていない。予算を

考えながら検討する。

【加藤】金銭的な補助ではなく、住んでみたくなる・住み続けたくなる環境整備こそが、他の自治体との差別化には有効ではないか。

【町長】移住定住の側面ではその通りだ。

しかし、金銭的な支援策には、移住定住だけでなく出生率の向上という側面もある。

他の自治体が行えば移住定住策ではなくなってしまいが、先んじて行うことで副次的な効果が期待できる。